

# 僚の垣根を超えて人をつなぐ でプラスにする「よんなな会」

対  
談  
リ  
レ  
ー



## 脇雅昭氏

よんなな会発起人／神奈川県市町村課長

幼稚園中退で身に着けた人との交流法  
人とつながる力には熱い思いがなくてはならない  
志がゼロに近づいている人の想いを1%上げる発想  
同質の人達だけでは新しいものは生まれない  
何が本物かを判断するにはクリエイティブな人とのつながりが大事  
離れてみれば傍にいる人の価値が見えて来る

1982年生まれ。宮崎県出身。

2008年に総務省入省。

熊本県庁への出向、本省の人事採用、公営企業会計制度改正の担当を経て、2013年から神奈川県庁に出向中。

国際課長、国際観光課長を経て、2018年4月から現職。神奈川県内の市町村が抱える課題解決等に取り組む。

プライベートでは、47都道府県の地方自治体職員と国家公務員が集まる「よんなな会」を主催。

社会起業家育成のメンターを務めるほか、民間企業の経営層や公務員など、セクターを超えた仲間・場づくりを進める。

入省後に受験した司法試験に合格。

# 未来の日本を明るくするための実践官 誰かから何かを奪うのではなく掛け算



**紫舟氏**

書家／アーティスト

代表作、NHK 大河ドラマ『龍馬伝』、美術番組『美の壺』、伊勢神宮『祝御遷宮』、内閣官房『JAPAN』、ディズニー・ピクサー『喜悲怒嫌怖』、資生堂×紫舟コラボ。

天皇后両陛下に紫舟展を御覧頂く（2017 愛媛県美術館）。フランス・ルーブル美術館地下会場で開催されたフランス国民美術協会展で、書画で金賞、書の彫刻で最高位金賞と、日本人初の金賞ダブル受賞。「北斎は立体を平面に、紫舟は平面を立体にした」と評価（2014）。翌年同展にて世界で1名枠とされる「主賓招待アーティスト」に選出。日本人では横山大観以来、現存日本人初。日本の伝統文化である「書」を、書画・彫刻・メディアアートへと昇華させながら、文字に内包される感情や理を引き出し表現するその作品は唯一無二の現代アートとなり、世界に向けて日本文化と思想を発信している。

この命何かに賭けたいと思いつくとき  
大きな波には抗わない事が大事と諭される

発信するエネルギーの源は限られた命  
『生』を意識し『死』に向かっているけど人は生きている

人と向き合っていないことに気づかされる

言葉や理屈は人を動かし、言語化しなくて動かせるのが唯一我身  
情報を発信しやすくなったと同時に心を置き忘れ





## ライフワークとして

## 地方、中央、人と人をつなぐ

紫舟 今回ご指名させて頂いた脇雅昭さんとは、友人を介して知り合いました。とても優秀な公務員で、その職務を果たしながら、休日は「人と人をつなぐ」ことをライフワークとして全国各地に赴いておられます。2020年に向けて、「国としてどうあるべきか」を考え、準備してゆかなければならない中で、国を運営していく官僚の方々の存在は大きいと思います。そのような中で、官僚の垣根を超えて、地方公務員と国家公務員、さらには民間の人をつなぐことに、仕事の垣根も超えて仕事のある日もほぼ毎晩、そして週末も完全にプライベート

で未来の日本が明るくなるためにと活動しておられます。

脇 紫舟さんと最初にお目にかかった6年前頃に本格的に始めて、いつのまにかライフワークになっていましたね。

紫舟 共通の友人が主催した食事会で、同世代の人達が4人集まり、その瞬間から仲よくなり、今でも交流が続いています。脇さんの交友関係は公務員のつながりだけでもかなりの数の方がいらっしゃるように思いますが？

脇 7年前からやつている、47都道府県の地方公務員の勉強会を兼ねた交流会の「よんなな会」には、通算で5000人ぐらゐ来て下さっています。前回は渋谷ヒカリエで開催して、800人ぐらゐ集まってくれました。

紫舟 1回の交流会に全国から800人も集まるとは凄いことですね。どういうきっかけで始められたのでしょうか？

脇 霞が関に地方の若手の公務員が来てくれているのですが、組織的には一番下の役割として来るので、さまざまな仕事を土日もなく気合いと根性でこなしているんです。彼らが地方に戻ったら、「地方創生」のお金をどう活かすのかなど、地方創生の要になっていく人達なのに、それだけでももったいないと感じました。東京には色んな人達と出会うチャンスがある。その中で、これからの地方を担う人財には、行政の人達だけでなく、民間の人達や色んなセクターの方々と「どんな掛け算ができるか」というコーディネート力が必要になってくるはず。その課題に気づいた時に、自分には何ができるんだと考えた結果、まずそういった同志と集まれる「場」を作ろうと思ったんです。

紫舟 仕事以外で、数千人のネットワークを作ることとはなかなか難しいと思います。しかも初期の「よんなな会」では、参加者を紹介する映像も流されましたよね。

脇 現在は、単なるイベントではなく、いかにコミュニティ化して具体的なアクションに繋げていくか、例えば、希望者には30秒でもいいからステージに立つてもらって、交流のきっかけを呼びかけてもらっています。

紫舟 運営費用はどうされていらっしやいますか？

脇 会費を3000円集めてギリギリで運営しています。それ以上頂くと、元々志が高い人しか来られないので、行政を担う公務員の中にも前向きな人もそうではない人もいます。仕組みとしてモチベーションを高めていくこと

が難しい環境ですが、視点を変えると個々の志や能力がそれぞれ1%でも向上したら、世の中はまだまだよくなるんじゃないか、公務員は可能性の塊だなという気がしています。

紫舟 公務員の方は、とても高い志や熱い思いを持ちながら、忙しく仕事に追われていませんか？

脇 多忙な毎日の中で、最初の志や希望を忘れがちになることもありまます。それをもう一度思い出す機会があることは大事ですし、常に志がある99%の人を100%にするよりも、志が0に近づいてしまっている人の想いを1%上げる方が大事だろうな、と思っています。

紫舟 その発想に気づけませんでしたが、それを行動に移せるのも素晴らしいですね。

## 「個」への呼びかけで

## 通算5000人の会に

紫舟 「よんなな会」は、渋谷ヒカリエや東京ミッドタウンなど、大きな会場で開催されていますね。

脇 通常だと公民館とかでやりがちですが、それだと志が高い人しか来られないので、「ちょっと面白そうだから」というきっかけを作らなければいけな



いと、最初の頃は吉本興業さんの本社でやらせていただきました。

紫舟 プロデュースの内容は、脇さんの発想ですか？

脇 運営のコアメンバーは20名程度で特徴的なのは、そのほとんどが民間の方です。と言うのは、同質の人達だけでは新しいものは生まれなと思っています。比喩的ですが、いきなり公務員が新しい「かついい」ものを生み出せと言われてもなかなか難しいのですが、あるものを見せられた時に、それが「かついい」かどうかを判別していくことはできます。これを続けていくことで、自分の中に「かついい」の基準が生まれてくる。「かついい」という話で例えて話しましたが、こうした基準を自分の中に持つことが大事

で、それが実際に政策をしつかりと作っていく時にも役立つと考えています。そのためにも、その限界を超えた人達、クリエイティブな人達と一緒に、そういったものに触れる環境を創ることが必要だと思います。

紫舟 民間の方達はどういう経緯で集まって来られたのでしょうか。

脇 一人ひとり口説いている感じです。紫舟 脇さんの周りの民間の方は、若くて楽しくてステータスの高い方たちですね。この組織を始めて凄くスピードで拡散しているということは、人の巻き込み方がとても上手だからでしょう。さまざまな会社の社長や権限のある方と知り合って、しかも「そういうことなら協力させて下さい。逆に、一緒にさせていただけて本当に嬉しいです」と言ってもらえるのですから。その方々も20人の民間のコアメンバーも巻き込み、進化しながらものすごいスピードで広がっていますよね。脇 進化ということでは、紫舟さんもこの1年で、また一つ別の次元に進化したようで興味が尽きません。紫舟 脇さんと一緒にすると、飽きのこないテーマに会話が弾み、いつも興味深く、脇さんのそれこそ天空を駆け巡るような行動力に驚かされています。

脇 そう言えば、私がこの仕事を続けていくべきか悩んでいた時に、相談にも乗って頂きました。

紫舟 脇さんは司法試験もパスしていますので選択肢が広いですね。現在は、公務員だからこそ広がっている部分もありますし、ご自身も使命を感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

脇 そうですね、以前進路に悩んでいた相談した時に、「人生の大きな波に抗わないで、大事だよ」と言われたんですが、今凄く腑に落ちています。

紫舟 それで、抗わなかったんですね。

脇 そう、「自分の使命をまだ果たせていない」と思ってたんです。あの時公務員を辞めていたら、多分この価値にも気づかず、自分の役目も曖昧なままだったかもしれません。

紫舟 「よんなな会」へはどのように募集しているのでしょうか？

脇 今は、SNSで誰もが個人で情報を発信収受しやすくなっていると同時に、「スルー力」も身につけているので、本当に仲よくしていても、SNSのグループを作った瞬間に発言が返ってこなくなりま。す。「あなたに来てほしい」＝「For You」というメッセージをいかに伝えていくか、実際に10回やつてみて、その重要性を体感しまし

た。途中、簡単にグループフォームで募集したんです。一気に拡散しましたが、全然人が集まらず当日キャンセルも増えました。結局、入力する人もグループフォームとやりとりしているだけなので、人と向き合っていないので思いが伝わらないんです。その反省を踏まえて、それからは、来てほしい人に直接連絡して、「行きたい」と言ってくれる人に、個別にフォームを送るようになりました。

紫舟 そこまでされて。来てもらう大変さを、本当に知っているんですね。

脇 大変ですが、つながりのない人達がいくらか集まってもあまり意味がなく、ちゃんとつながりが生まれていくことに価値があると思います。その原型は紫舟さんと初めてお会いした時に集まった4人の会で、各々の周りの素敵な志がある人を集めようという会でした。紫舟さんの周りには私の知らない素敵な人がたくさんいて、僕の周りには官僚や弁護士がいると。

紫舟 私の身近には、官僚の方はいらっしゃるなかったので、大勢いらっしゃることに純粋に驚きました。官僚の方の考え方や判断の仕方の違いに刺激を受けました。

脇 私はクリエイターの人と知り合



あったのでしょうか？

脇 いえ、どちらかと言うと、やってみて気がついた価値観です。

紫舟 名前と会が先にあり、試行錯誤しながらやられているうちに、明確なコンセプトが出て来たのですね。現代は、機械と向き合うことが増えていて、人と人が向き合うことが非常に少なく、密度の高い対話、会うチャンスを重視する方も少なくなっていると思います。そのためにも、「よんなな会」は効果があるとお考えでしょうか？

脇 私は公のために行政が持つ力は大きいと思いますが、行政だけでは、いろんな課題解決は難しいので、様々な人達が公の主体となるような仕掛けをするためにも、民間の人とも出会える「場」を作ったのです。

紫舟 それは、本当の地方創生だと思います。国がしていることを地方に伝え、中央とのつながりをしっかり持てる人を増やしていくということですね。しかも20代、30代の人達なので、若い人とのつながりができて来ますね。

脇 これは国家公務員からしてもとても大事で、いろんな制度を作っても現場でうまく回るような仕掛けにしていかなければなりません。その時に地方行政の最前線で活躍されている

方々とのパイプがあるというのが、凄く大きくて重要だと感じています。

紫舟 東日本大震災の後、国とのパイプが太い場所は復興が早かったですね。地方と中央をつなぐことは、国民のために重要なことだと思います。

脇 私は「何かを変えよう」という気持ち強いわけではないんです。それより、今の仕組みでできることはあるし、また上り幅があると感じています。かつて明治維新の頃は、一人ひとりの想いを集めることは大変だったと思います。現在は人類史上最高に「出会える」状況なのに、そのチャンスを生かしていきように思います。それでも「あなたと一緒に何かをした」ということを伝えられる、凄くいい仕組みがあるとしたら、世の中はもうと加速度的によくなっていく可能性があつて、そこに向けてまだやれることはあると思っていますよ。

紫舟 確かに龍馬のようですね。

脇 いやいや、龍馬とは思っていませんが、土日に飛行機でバンバン飛び回っているの、大きなうねりになって行けばいいなと思っています。

紫舟 本当に毎週末はどこかに行かれていますね。

脇 今やっているのは、普段会わない

ような人同士を掛け合わせることで。それによって、必ず面白いことが生まれます。誰かから何かを奪うのではなく、私はこれができるよというのを、持ち寄ってシェアすれば、確実に掛け算でプラスになって行きます。そうして、素敵な人が素敵な人を紹介してもらえよう。連鎖が生まれて来たのです。最初は「ありがとう」というお礼の気持ちで紹介してもらえているんだと思っていたんですが、人はもつと素敵で、自分がその場で幸せになったから、自分の応援したい人、頑張してほしい人にも幸せになってほしいという思いで紹介してくれるんです。関東では、そんないい連鎖が生まれているのですが、地方で志をもつて活躍されている方がいても、その連鎖の中になかなか入って来ず、出会えませんでした。だから自分で会いに全国を周るんです。

紫舟 中央で集め、地方を駆け巡る！

脇 仮に月1回として、47ある各都道府県は4年に1回、オリンピックの様な間隔でしか行けないのに、どういった価値を発揮できるんだろうと思いがち。東京は関係性が稀薄で地方は密だと言われますが、「地方」の「密」は、実は凄く小さな塊の中の密度な

う機会がなかったので感激しました。

それで、クリエイティブな世界と行政や司法の世界がもつと密接になって、世の中の面白い事が生まれて、いい関係性が築けるんじゃないかと。暫くはその会を続けていたんですが、皆さんお忙しくていつのまにか私一人でやるようになったという(笑)わけですね。

紫舟 そうです(笑)。それを経て下さっていることは有り難いです。

日本全国を旅して

「人」を見つける

紫舟 「よんなな会」のコンセプトは非常に素晴らしいものです。最初から



のです。だからこそ、会の最後に出て来る言葉は、「あ、地元でもこんな面白い人達がいるんだ！」です。人は自分も含めて、やはり遠くにある「ない」ものを羨ましがりがちですが、大事なのは身近に「ある」価値に気づくことだなど。外から行くと、それをきつかけに横のつながりができて来るような気がしています。その機会作りが全国を回る一つの価値だと感じていますね。

## 地方自治体にも広がる

### 公務員交流の輪

紫舟 脇さんの活動がきつかけとなったことで、具体的な成果はありますか？

脇 そうですね。先日の「よんなな会」では教師と市役所の職員とVR（ヴァーチャルリアリティ）の会社の人のつながりが生まれていました。VRは使い方も価値もまだ限定的ですが「VRを教育にもっと使いたい」という思いから、VRを使って今の地元を残すというVR版「タイムカプセル」の取組みが小学校でなされました。これからの時代には、こうした小さな幸せが多く生まれるような、世界が大事だと思つていきます。最近では、そうしたいろんな動きがいろいろ起きていて、それぞれの半径数mの世界を幸せにできる人達が増え

て来ているという実感がありますね。

紫舟 いろいろなものが波紋のように広がっていくように、ですね。

脇 「よんなな会」では全国の公務員を東京に集めて開催していますが、最近「うちの地元で」というので地方開催が増えています。北海道は都道府県コード「01」に由来して「ぜろいち会」が発足、3月には奈良の39市町村プラス県で「よんまる会」、そして私の地元、宮崎は26市町村と県で「にいなな会」、職員が100人もいないのに、隣の市町村の職員のことを知らない現状もあることを知り、まだまだよくなる可能性があるなと思いましたね。

紫舟 気づけるかどうかですね。橋渡しをすることで、大きな力と変化が生まれますね。

脇 今まで全く発信していなかった私が発信するようになってから、つながりが増えて行くのが非常に分かりやすい変化です。それも、昨年からです。紫舟 発信するということは、もの凄くエネルギーが必要です。脇さんのエネルギーの源は何でしょうか？

脇 人生は限られているということを経験しているからだと思っています。悲観的ではなく、誰にでも平等にあるのが「死」です。テレビの中では毎日誰かが

お亡くなりになつていますが、父が80歳で亡くなって初めて、死をリアルに経験しました。と同時に「生」をとてもしっかり感じたんです。人は死に向かつていくけど、生きているんだ、と思つたら、せつかく貰ったの命を何かに使わなければと考えました。その頃、「人生を何に懸ければいいのか」って悩んでいて紫舟さんに相談したら、「大きな波に抗わないことが大事」と言われました。<sup>1</sup>

紫舟 公務員になられたのはなぜでしょうか？

脇 弁護士になろうか迷っていました。公務員を選択した理由の一番は、公務員の先輩で、20年後にこうなりたという大人と出会えたことですね。

紫舟 当時の脇さんは選択肢をたくさん持つことが信条で、常に迷い続けていらつしやう。明確なのは、人のことが好きで、笑ってくれたり幸せそうな姿が好きだということでしたね。

脇 今は凄くシンプルに受け容れられますが、一時期は一度しかない人生、世の中のために何か凄いことを……と思つていました。周りに紫舟さんの様に表現している方や社会起業家の方、教育関係の方がいますが、皆人生の時間とお金とリスクを払って実践しているんですね。自分は守られた環境に

ていいのだろうかと思ひでいた時、悩んでるだけじゃ意味がない。頭の中で考えている間は、世の中のために1mmもなっていない。ただ、「これだ」という何かを明確に見つけられていないけれど、思いつくことはある、その思いついたことをやったら、また次にそれを愚直にやつて行く。その先に、自分の人生つて、こういうことをやりたかつたんだと死ぬ前に振り返つてみて気づく、そんな人生も幸せなんじゃないかな、と思つた瞬間からバツと広がりました。2年かかりましたが（笑）。

紫舟 見つけたんですね。

脇 言葉や理屈は他人を動かすのは大事だけど、言語化しなくても動かせる唯一のものが、自分の身体です。やれば必ず笑顔が見られるから、また次にやらなくちゃいけないことが浮かぶんです。

紫舟 流石です、そのような意味で、やはり公務員、向いていらつしやいますね。

脇 そうかもしれません。私利私欲を持ってない環境を与えてもらっているんだと思います。

## 公務員だからできる

### 世の中への貢献

紫舟 「よんなな会」が大きくなり、



地方にも安定した組織や仕組みができる、起業してもっと育てて行こうと考える方もいらっしゃるが、あえて制約が課される公務員でいるのはどうしてでしょうか？

**脇** いろいろ制約はありますが、社会のルール作りとか、納めて頂いた税金をどう使っていくとか、大きな役割を担っています。そして、「行政が持っている信頼」で、「つなぐ力」が一つの柱になって、人の想いをもっとうまく集めるエッセンスにできていると思います。どんなにいい制度を作っても、その担い手次第というところがあります。そういう仕掛けを作って動かして行くのは、公務員の方が動きやすいし、もの凄く可能性があると思っています。「ほくら

公務員って価値もあるし、もっと価値を高められるよね」ということを、公務員の中にいて一緒にやって行くことに大きな意味があるんです。「ほくら」、この3文字が重要だと思っています。

**紫舟** 同じ立場にいる者として呼びかけて行くのですか。

**脇** この世界でやれることはたくさんあると思います。1人のスーパーな公務員がやるよりも、全国の人達が少しずつでもやる方が、多様な幸せに対応できる社会に近づいていくような気がします。

**紫舟** 批判的な意見が出ることもあると思います。

**脇** いろんな立場や意見がありますから全くな�いとは言いません。何かを頑張っていると、何かを疎かにしている

んじゃないかと。けれどとにかく全国の志ある公務員が一緒にやっていたいけるようなプラットフォームを作りたいんですが、この成長スピードでは僕の人生の間に、間に合わないと思って、発信することを始めました。

**紫舟** 二兎追う者は一兎をも得ず、も今は、二兎得て二兎を追う、のかもしれないですね。

**脇** 公務員が自分の言葉で自分の想いを話すってリスクだと思ってたんです。でも文句を言う人は大抵、直接会ったことのない人達じゃないですか。そういう声にビビりながら人生を過ごして行きたいか、あるいは、自分の考えを発信することで生まれる仲間と一緒に世の中を少しでもよくして行かれる、そんな人生を歩みたいか。ペーパーテストで聞かれたら、一瞬で後者に○をするのに、それができていないっておかしいなと思ひ、どんどん発信することになりました。本当に恐れるべきリスクじゃなかったりしますよね。

**紫舟** リスクを感じながら踏み込むことは勇気がいりますが、一歩を踏み出す勇氣は、自分になかったとしても、いろいろな人からも分けてもらえますからね。

**脇** 紫舟さんの様に自己表現している人がこんなに身近にいるというのは、

やっぱり大きいです。人生でどの人と出会うかは人生の選択肢に大きく影響しますし、「やらなくちゃいけない」じゃなくて、「やれる」「やりたい」ものを見つけた瞬間、パフォーマンスは全く違ってきますよね。そういう場を若い世代に持つてほしくて、学生向けに出会える場を作ると、いろんな反応が起ります。

**紫舟** 学生の反応はいかがでしたか？

**脇** この前、「よんなな会」でスタッフとして100人程の学生に参加してもらいましたが、その仕事に憧れる、ということが重要だと思います。現在公務員職は人気ナンバーワンですが、それは9時〜5時で安定しているという理由が多いです。もし、そういう人達だけが入って来たら破綻してしまうので、真の意味で価値ある仕事だということを見せたいと考えました。

**紫舟** 霞が関の方々にはよく働かれていらっしゃると思います。夜、皆で集まってもその後必ず職場に戻られます。

**脇** メディアを通じた抽象的な経験に打ち勝つには、具体的に公務員と会う経験しかないなと思ひました。公の事をやりたいという学生が1週間で100人ぐらゐ集まってくれました。

**紫舟** 本当の意味の「公務員」にな



りたいという、志のある学生が多くなりそうですね。

脇 そうなんです。そこがまだまだ開拓できる場所だと感じています。

想いでつながる

「脆さ」と「強さ」

脇 「よんなな会」に全国から集まってくる人達の合宿所を作って、そこに東京生まれ東京育ちの学生も参加したんですが、一晩共に過ごして「俺の町、来ないか」みたいな話から、実際行ってみて、その町の人や課題に触れることで「第二のふるさと」ができるんです。私は、地元の宮崎・都城、大好きですが、紫舟さんの方が都城には頻繁に行ってるんじゃないでしょうか。

紫舟 都城市は、2018年1月は

200人の大書初め大会を開催し、子供から大人まで参加され、それぞれの志や想いを大きな筆で130cmの和紙に書き上げました。年始の書初め大会と、書でお手紙を秋の書くワークショップで、毎年2回は都城市に行っています。

脇 結局、私も、18歳で大学進学のために地元を離れたので、記憶の中の地元は18歳で場所も人も更新が止まっているんです。よく行っていたスーパーもなくなっているし、高校時代までの友人しかつき合えていない。高校の友達も家族ができて子供ができると、優先順位が変わってくるので、疎遠になって来る。親がいるから帰っているけど、亡くなったら、いよいよ関係性が希

薄になるなど。そう考えると、人口6000人の小さな田舎で生まれた私ですら、都会と地方の間で分断されてしまふ。これが日本全体で起きているとすれば、何とかしないと、そこで、地元の人と学生が、お盆や正月といった帰省のタイミングで新たな関係性を更新して行かれるような出会いの場を作っています。

紫舟 熱い想いをずっと持ち続けるエネルギーは素敵ですね。これからも、公務員として行政に関わっていけるんですね。

脇 そうですね。公務員にはまだまだ可能性がたくさんありますし、この立場だからできることもありますし。

紫舟 一人の力ではなくて多くの力が結集して回り始めると、加速し、今プライベートでの「よんなな会」や「人をつなぐ」ことは、実際、地方の行政を担う方々にとって力になっています。それを中央の正式な仕事にするというのは、どうなのでしょう？

脇 制度というのは、そこに熱い想いがなければいいものを生み出させませんし、多分仕事ではないという事が価値を生み出しているんだろうと思います。仕事という枠に入ってしまったら、僕が異動した後は、ルーティーンに

なってしまう。

紫舟 人事異動などでまた違う方が進めていくことにもなりますから。

脇 そうですね。仕組みにするとか、想いを伝播させていくことが難しくなるので、同じ想いの人達が個々の想いで集まって情報を発信することができ、誰でも受け止められるからこそできる、志でつながる場、これを「にゆるう」とした組織体」と言っています。

紫舟 参加される地方公務員の方々には仕事で来られるのですか、それとも？

脇 いえ、土日ですし完全なプライベートで自分の時間とお金を使って来て下さっています。制度にすると、永続的に続いていくような気がしますが「想い」でつながると、凄く脆いんです。でも、脆いからこそ新しいことを生み出せる、脆いからこそ認め合うという空気が作れる生き物だと思っています。紫舟 地方にはシャッター街などいろいろな課題があります。日本の国として、今最大の課題は少子化です。「少子高齢化社会」という風潮があつても、何をどうすれば少子化を食い止めるのか、具体的な対策を地方でも実践していかなくてはなりません。地方の創生は、少子化問題と表裏一体ではないかと思っています。





**脇** 東京で就職していく学生は「地元に戻っても仕事がない」と言います。実際は、そんなことあるわけがないのになぜ「仕事がない」と言うのか、多分、そういう仕事に出会った経験がないからで、もつと選択肢を見せていくことが大事です。そこで、地元で働いている人はどういう人なのかを見られる機会を作ろうと思っています。そのためには学生が帰省する盆や正月に地元の人と会える場を作ると、選択肢が増えます。地元のことを自然と語る場ができないかなと。

**紫舟** 本当に、そうですね。

**脇** 自分が地元にはいないからというものもあるんですが、「遠くにいる味方」これが大事だなと思っています。今で言うところの「関係人口」ですかね。その一人として行動すると同時に、いろんな世界にそういった「味方」を作っていくことが今後極めて重要なのだと思っています。

**紫舟** 小さい頃はどのようなお子さんでしたか？

**脇** 最初の学歴は「幼稚園中退」なんです（笑）父はちやうと変わっていて、戦後すぐに、今でいうコンビニみたいな店をやっていて、ポイントカード制のような先進的な取組をしていたそうです。自分は6人兄弟の末っ子で、町立の幼稚園に通って1年ぐらいいったある日、父が「あの幼稚園に毎月6000円を払うだけの価値が見い出せない」と言い始めたんです。

**紫舟** 仰っていることも凄いですけれど、それを幼稚園児だった脇さんに向けて仰られたことも凄いですよね。

**脇** 「幼稚園に行つて、6000円分何を得ているんだ？」と訊かれても、分かりませんよね。そしてさらに、「辞めるんだつたら、お前に6000円を払う」ということでした。当時、父親

の肩を揉んで10円のお小遣いをもらっていたから、6000円の価値は分かっていたんです。で「600回分だーじゃあ」って辞めたら、世界が変わりました。それまで、同年齢の子達と遊んでいたのに、同世代の人間が昼間は誰もいないんです。そこで、近隣の主婦の方々が井戸端会議をしているところに行つて参加したんです。何を話しているのかはよく分からないのに、「そうですね」みたいに言っていたような気がします。

**紫舟** 逆に同年代の子供がいなくて寂しくありませんでしたか？

**脇** 凄く寂しかったですよ。同級生がいらないから誰かに会いたくなって、動かざるを得なかったんですね。だから普通絶対話しかけないような人達と交流が持てたんです。

**紫舟** 全く立場の違う人の中に入つて行くことに抵抗がない、ということはその経験が生きているのかもかもしれませんね。6000円はどうなりましたか？

**脇** ええ、そのお金で紙芝居を買つて、後は貯金しました。当時、「紙芝居は何でお客さんから見たら絵しかないのに、あれだけ流暢に言葉を発して魔法みたいなことができるんだ」と思っていました。それで「魔法を使いたい」

と思つて、親と紙芝居の練習を頑張っていたら、父親は辞めた幼稚園に見せに行つたんですね（笑）

**紫舟** お父様も考えがあつたんですね。

**脇** 当時、父は「子供の教育はどうあるべきか」というのを幼稚園に問いたいって考えていたんじゃないかな、と思います。今となつては真意は分かりませんが、全く違う環境に身を置くことで、凄く自分を成長させてもらえたと思います。

**紫舟** 新しい教育のあり方を示す、一石を投じたところはあるように思います。自立も早そうだし、自ら向学心を生み出しそうですし。

**脇** 毎日、「行つてらっしゃい」、「お帰り。今日はどうだった」の繰り返しでは、新しい発想も湧きません。幼稚園を辞めたら用意されたものはなく、自分から動くしかなかったんですね。

**紫舟** 今の「人となる力」は幼稚園中退から始まつていたということですね。本日は新しい価値基準に気づかれました。脇さんの今後の公務員活動が一層楽しみですね！型にはまらないお話を伺えてよかったです。どうもありがとうございます。

**脇** こちらこそありがとうございます。